

### 通学路の安全性について

**質問** 通学路の危険箇所点検はどのように行われているか。また、道路建設や道路工事が行われる際の通学路の安全確保はどのようにしているか。

**答弁** 毎年1回、全ての小・中学校で通学路を中心とした定期的な危険箇所点検を実施している。さらに点検実施後は教育委員会事務局職員が、報告を受けた全ての危険箇所について、実際に現地へ赴き、状況確認を行うなどして危険性等の詳細な

把握に努めている。通学路での工事实施の場合には、事前に、関係する小・中学校等に対し工事の施工業者や道路管理者から説明が行われている。教育委員会としては、青色回転灯パトロールを実施の際に、工事箇所をはじめとした危険箇所において、児童生徒の誘導や巡回強化など、警察及び道路管理者への改善要望など、学校や地域の実情に応じた支援に努めている。

**その他の質問** ○電柱利用広告について  
○堀切川のダイオキシン濃度について  
○ワクチン接種の対応について

### 学校の施設整備について

**質問** 学校トイレの洋式化率を5割以上にすること、各学校に多目的トイレを設置しバリアフリー化を計画的に進めること、特別支援教室がある全ての学校にエアコンを設置すること、老朽化した校舎や体育館を早期に改修することなど、整備計画について尋ねる。

**答弁** 洋式トイレは、防災面からも必要であり、

過半数の洋式化に向け改修を進める。多目的トイレは、各学校に最低1カ所は設置していく。小中学校の特別支援教室の内、最低でも1教室には空調機を設置する計画を進めていく。老朽化が進んでいる小学校の屋内運動場建て替えや、小中学校校舎の大規模改修事業にも積極的に取り組んでいく。大規模改修事業については、児童生徒や教職員の要望も聞き取り、可能な限り反映していく。

### 女性と防災について

**質問** 阪神淡路、東日本の二つの大震災を経て防災分野でも女性の参画の重要性が言われている。国も男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の必要を明言している。鈴鹿市男女共同参画基本計画に基づき、鈴鹿市防災会議にも女性を40%以上に増す必要があると思うがどう考えるか？

**答弁** 現在国では社会のあらゆる分野の指導的地位に女性の参画の必要性を言っている。本市で

も審議会等に女性の登用率を40%に引き上げる目標を持ち進めている。防災会議においては38名中女性は1名である。今後増やす方策として組織や団体には「長ではなく代表する女性」をお願いし、「自主防災組織、学識経験者」においても女性委員を選任したい。また市職員についてもなるべく多くの女性職員を選任し女性の比率を高めていくことを考えている。

**その他の質問** ○特定事業主行動計画の進捗の件  
○生活保護法改正案について

### スポーツガーデン施設整備計画への市の関わりについて

**質問** 平成33年開催の国民体育大会三重県大会の会場に、またJリーグ開催に向けた県営鈴鹿スポーツガーデン、サッカー・ラグビー場の改修計画が白紙撤回された報道の後、Jリーグ事務局が来県してスタジアム基準を変更しないという事と、三重県なりの付加価値を付けたスタジアムにして欲しいという発言を受けた。単なるスポーツ施設としてではなく、ショッピングセンター、福

祉施設等、県・市・民間との協働による複合施設として整備してはどうか。

**答弁** 県のスポーツ施設整備計画では、地域の活性化、健康増進、大規模大会の開催、競技力の向上、防災対策への対応等が期待されている。県に対して様々な可能性の検討も含めた要望活動を行うとともに積極的に協力していきたいと考えている。

**その他の質問** ○災害時の避難所について